

氏名	ぶーむしゃりっと わらんらっく POOMCHALIT WALANRAK
学位(専攻分野)	博士(学術)
学位記番号	博甲第923号
学位授与の日付	平成31年3月25日
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当
研究科・専攻	工芸科学研究科 建築学専攻
学位論文題目	SOCIAL APPROACH IN COMMUNITY DEVELOPMENT AND APPLICABLE CONSERVATION METHODS IN THAILAND (タイ国におけるコミュニティ開発と有効な保全手法に関する 社会的アプローチ)
審査委員	(主査)教授 鈴木克彦 教授 阪田弘一 教授 長坂 大 准教授 大田省一 京都大学大学院理学研究科 講師 鈴木あるの

## 論文内容の要旨

本論文は、急激に進む都市化と郊外開発の影響下にあるタイ国の伝統的木造集落を研究対象として、持続可能な住環境に向けて取り組む社会構造に着目して調査研究を展開し、地域コミュニティを活用して創造的で持続的なコミュニティ開発と有効な保全手法に寄与する社会システムの理念と戦略について提示しているものである。

全体で9章から構成されており、第1章で研究の背景と意義、目的、調査方法及び期待される成果について述べた上で、第2章において持続可能なコミュニティ開発の理念を紹介して、タイ国における独自性と現状の問題点を述べ、地域特性に応じた都市開発とコミュニティ参加の重要性について述べている。

第3章では、水上交通を産業基盤としてきたタイ国の伝統的木造集落の空間構造と地域マネジメントの特徴を明らかにした上で、自動車の普及による交通環境の変貌がコミュニティ構造に与える影響を分析し、伝統的な地域コミュニティの維持保全には地域住民の参画を前提とした社会システムの確立が必要であることを述べている。

そして、第4章では伝統的まち並みが残るタイ国北端にある Chiang-Khan 地区、第5章では観光地化が進むタイ国北部の Mae-Kampong 地区、第6章においては洪水災害後に観光地に復興したタイ国南部の Kiriwong 地区をケーススタディとして、各々の地域組織の特徴と地域慣習に基づくコミュニティ管理の仕組みを明らかにした上で、コミュニティ保全のための制度運用とコミュニティ参加における課題を抽出している。

続いて第7章では、地域住民と行政とが連携してまちづくりを進めている京都市の「まちづくり協議会」の仕組みに着目し、歴史的職住混在地区のまち並み保存と居住環境の改善に取り組む市内のまちづくり団体の活動成果を調査・分析した上で、多様な担い手で構成された組織体制と住民意向を反映したコミュニティ・ルールの役割の重要性について論じている。

以上の成果をふまえ、第8章では各々特徴をもつ地域コミュニティ事例の比較分析と住民を対

象とした質問紙調査の結果を紹介し、伝統性と近代化が両立した持続可能な地域コミュニティを育成していくための社会開発のあり方と地域コミュニティのマネジメントによる保全手法への配慮要件を導き出している。

最後に第9章において、本研究によって得られた成果に基づき、タイ国における持続可能なコミュニティ開発のための諸要件とコミュニティ参加を前提とした社会システムについて提言を述べている。

## 論文審査の結果の要旨

本論文の9つの章は、国際的学術論文誌に審査を経て掲載された3編の論文を中心に構成されている。

タイ国バンコク市近郊では都市化と郊外開発が急激に進んでおり、水上交通を産業基盤としてきた伝統的木造集落のコミュニティの衰退が深刻化している。本論文はこのような影響下にある伝統的木造集落を研究対象として、地域コミュニティの参画による創造的で持続的なコミュニティ開発と有効な保全手法に寄与する社会システムの理念と戦略について提示しているものである。

まず本論文では、持続可能なコミュニティ開発におけるタイ国の独自性と現状の問題点を述べ、水上交通から自動車交通に移行した産業基盤としての交通環境の変貌がコミュニティ構造に与える影響を分析した上で、伝統的な地域コミュニティを保全しつつ地域特性を反映した地域開発を進めていくためには、地域住民の参画を前提とした社会システムが重要となることを実証的に述べている。そして、伝統的まち並みが残る3地区の集落をケーススタディとして、各々の地域組織の特徴と地域慣習に基づくコミュニティ管理の仕組みを詳細に明らかにした上で、住民組織体制、住民参加システム、コミュニティ・ルールの運営の側面からコミュニティ保全のための制度運用とコミュニティ参加における課題を明らかにしている。

一方で、地域住民と行政とが連携してまちづくりを進めている京都市の「まちづくり協議会」の仕組みに着目して、歴史的職住混在地区のまち並み保存と居住環境の改善に取り組む活動成果を調査・分析しており、タイ国との実情の違いを明確にしている。その内容はまち並みデザインの誘導手法や住民活動の方法論まで展開しており、実証的かつ詳細に論述している。その成果をふまえて、各々特徴をもつ地域コミュニティ事例の比較分析を行った上でタイ国におけるコミュニティ社会への適応性を検討し、多様な担い手で構成された組織体制と住民意向を反映したコミュニティ・ルールの役割の重要性について論じている。

結論として、本研究によって得られた実証的成果をふまえ、タイ国における伝統性と近代化が両立した持続可能な地域コミュニティを育成していくための社会開発のあり方と地域コミュニティのマネジメントによる保全手法への配慮要件を導き出しており、持続可能なコミュニティ開発のための諸要件とコミュニティ参加を前提とした社会システムの構築に対する提言を述べている。その内容は、開発が著しいバンコク市周縁部に立地する伝統的特徴をもった地域コミュニティの実態について文献調査及び緻密なフィールド調査を展開することによって各々の文化的、空間的、社会的構造を明らかにした結果に基づいたものであり、都市化によって衰退化が進むコミュニティ再生には地域住民の自助的管理の能力が重要であることを指摘し、これを達成するためには、コミュニティ・ルールの適切な運営に加え、地域住民が適切な自力建設能力を持っていること、

かつ障害なく達成できる建設技術であること、地域産材を使用すること等が重要となることも指摘している。このような住環境再生が伝統的なコミュニティの質と価値の認識を高め、地域のアイデンティティの強化と歴史的資産の保全につながることを提示している。

以上のように、本論文は社会科学的アプローチに基づく詳細なフィールド調査による実証研究を行い、更新が著しい大都市周縁の伝統的木造集落における持続型社会と創造的コミュニティの醸成に向けた地域再生手法の新たな枠組みを提示していることから、独創的で応用可能性があり、大きな学術的価値を有するものと認められる。

本論文の内容は、以下の3編の学術論文に報告されている。

- 1) Poomchalit Walanrak, Suzuki Katsuhiko and Suzuki Arno “A Study of Sustainable Alternative for Living Communities”, 13<sup>th</sup> International Conference on Thai Studies : Globalized Thailand Connectivity, Conflict and Conundrums of Thai Studies, Chiang Mai, Thailand, pp.1287-1304 (2017.7)
- 2) Walanrak Poomchalit, Katsuhiko Suzuki and Arno Suzuki ”Review on the Relationship between the Spatial Developments and the Change of Wooden Houses in Original Settlements in the Suburban Expansion of Bangkok”, International review for spatial planning and sustainable development(IRSPSD International), Vol. 6, No.2, pp.12-29 (2018)
- 3) Walanrak Poomchalit and Katsuhiko Suzuki “A Study of the Importance of Personal Interests Concerning on Urban Planning: Case Studies in Kyoto City, Japan”, Journal of Architectural/ Planning Research and Studies(JARS), 15(1), pp.17-34 (2018.10)